

●児童館、公民館【さわやか交流館ブルー】内のエントランスホールにて



●北國新聞 (1/15 朝刊)

被災の美容師 出張カット

穴水町さわやか交流館ブールトで14日、同町中居の美容院「Monaka(モナカ)」を営む村山弘(ひろ)さん(46)が出張カットを始め



たし写真。久しぶりの散髪や顔そりに避難所の住民からは「身も心もさっぱりした」と笑みがこぼれた。村山さん自身も自宅が半壊し、避難所で過ごしている。訪問理美容サービスを手掛ける「髪人」の仲間3人が応援に駆け付け、移動式シャンプー台で住民の髪を洗った後、髪の毛を手際よくカットした。

約1カ月ぶりの散髪という宮坂昭二さん(74)は「プロに洗ってもらうんは全然違う。最高に気持ちいい」と笑顔を見せた。

穴水身も心もすっきり

●中日新聞 (1/15 朝刊)

避難生活から帰郷し洗髪してもらった被災者。穴水町さわやか交流館ブールトで



シャンプー、散髪で被災者すっきり笑顔

穴水で美容師らボランティア

訪問型の理美容サービスを全国で展開する「日本介護システム」の「KAMI BLOOM」スタッフが14日、穴水町さわやか交流館ブールトで、被災者の髪をシャンプーや散髪を施した。発災から約1週間がたった。発災から約1週間がたった。髪を整えた被災者たちは、笑顔と共にすっきりとした表情を浮かべた。

町内にある「石川能登穴水店」の美容師村山弘(ひろ)さん(46)が、大阪市の関西本社にも呼びかけて企画。移動式シャンプー台を大阪から用意し、コンロで温めた湯を使いながら作業にあたった。

「今日は洗髪や散髪を含め約50人の被災者が次々と訪れ、サービスを受けた。「夜になるとすっきりかゆかったんです。本当に気持ちいい。ありがとうございます。」1日の震災から1度も髪を洗えておらず、仮設のシャワールームなども過冷めやそこまでの移動が心配だったという東恵子さんの髪は顔面の笑みを見せた。

村山さんは「私自身も2週間ぶりにはさみを触った。やっぱり髭でもらえるのはうれしいですね。地元に戻って笑顔を届けられたと話した。(桑田一樹)

赤色灯